



日本マクドナルドと読売新聞社が連携
食塩と新聞の共同輸送がスタート

～国土交通省、農林水産省、経済産業省 3省共同で初の事業計画認定～

日本マクドナルド株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長兼CEO：日色 保）と株式会社読売新聞グループ本社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山口 寿一）は、株式会社永尾運送とHAVIサプライチェーン合同会社とともに、輸送の効率化・環境負荷低減の取り組みとして、食塩と新聞（夕刊）の共同輸送を本日より開始いたしました。

本日よりスタートした事業は、4t車を使用する食塩輸送（大阪市大正区⇒神戸市東灘区）と2t車を使用する夕刊輸送（大阪市北区⇒兵庫県西宮市）を一緒に行うものです。新聞輸送の2t車の余裕スペースを活用して食塩と新聞を共同輸送（混載）します。この事業により4t車での輸送が廃止され、2t車に統一されるとともに、積載効率が向上します。

本事業は異業種連携の先進的な取り組みとして、物流総合効率化法に基づく計画としては初めて国土交通省、農林水産省、経済産業省の3省共同による認定を受けました。

【見込まれる削減効果（年間）】

- ・貨物車両からのCO2排出量：約1.1t
- ・貨物車両の走行台数：約230台

＜日本マクドナルド株式会社のコメント＞

読売新聞社と物流効率化を図れることを大変光栄に存じます。今後も社会のお役に立てますよう、業種の垣根を越えた取り組みをさらに進めていきたいと思っております。

＜株式会社読売新聞グループ本社のコメント＞

今回の共同輸送により新聞輸送トラックの空き時間、空きスペースの有効活用につながると考えています。今後も物流の省力化や環境保護に貢献していきたいと思っております。



奥に段ボールで梱包された食塩、手前に読売新聞が積まれたトラック荷台

＜お客様のお問い合わせ先＞

マクドナルド公式ホームページ <http://www.mcdonalds.co.jp/>